

関係者各位

平成 30 年 5 月 16 日

公益財団法人石川県音楽文化振興事業団
オーケストラ・アンサンブル金沢

オーケストラ・アンサンブル金沢 客員コンサートマスター就任について

日頃よりオーケストラ・アンサンブル金沢の活動にご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

本年、設立 30 周年を迎えるオーケストラ・アンサンブル金沢（以下、OEK）では、2018 年（平成 30 年）6 月より**水谷晃（Akira Mizutani）**氏が客員コンサートマスターに就任致します。

OEK は水谷氏を迎え、室内オーケストラとしての魅力をさらに高める活動を実施いたします。OEK と水谷氏に、今後ともご注目いただきますようお願い申し上げます。

《客員コンサートマスター》

水谷晃（Akira Mizutani）

大分市生まれ。3 歳よりヴァイオリンを木村二郎氏に師事。

1993 年度、95 年度大分県音楽コンクールでそれぞれ第一位並びに最年少で特賞を受賞。その後、父の転勤に伴い、5 年間インドネシアに滞在。P.プラボウォ・S.エングの各氏および C.H.オーズィム氏のマスタークラスに選ばれ、師事する。

帰国後、第 56 回全日本学生音楽コンクール名古屋大会第一位。第 12 回日本モーツァルト音楽コンクール入賞。南山国際高等学校を経て、桐朋学園大学を首席で卒業。その間、ヴァイオリンを小林健次氏、室内楽を原田幸一郎・毛利伯郎の各氏と東京クワルテットに師事。

在学中 Verus String Quartet を結成し松尾学術振興財団より助成を受け、イェール大学夏期アカデミー・ノーフォーク室内楽フェスティバルに参加。その後、第 57 回ミュンヘン国際音楽コンクール弦楽四重奏部門で第三位入賞。日本の弦楽四重奏団の入賞は東京クワルテット以来、38 年ぶりの快挙となった。

2010 年 4 月より国内最年少のコンサートマスターとして群馬交響楽団コンサートマスターに就任。主要オーケストラにコンサートマスターとして客演するほか、宮崎国際音楽祭、木曽音楽祭、サイトウ・キネン・オーケストラに参加するなど、多方面にわたり活動している。2012 年、群馬交響楽団での活躍が評価され、第 9 回上毛芸術文化賞を受賞。2013 年 4 月より東京交響楽団コンサートマスター。トウキョウ・ミタカ・フィルハーモニアにおいてもコンサートマスターを務めている。

使用楽器はヒノキ新薬株式会社から貸与されている、1783 年製 J.B. ガダニーニ。

